



始めから雨がパラパラしていて、終わり頃には本降りになりました。昨年は7月9日頃に梅雨明けでしたが、今年は土用(7/20)前後になるかもしれません。昨年に比べ涼しい日が多く助かります。水面は雨に打たれているためでもないでしょうがとても静かです。雨の日は雨の日ならではの生きものの姿が見られました。



ヒメオカモノアラガイ

殻高8ミリ。アカメガシワの葉上にいました。右巻きの巻き貝です。水中にいるモノアラガイはとも少なくなっています。目立たない生きものなので初見です。雨の日ならではの姿です。



イセノナミマイマイ

殻径30ミリくらいのカタツムリが幹をゆっくり移動していました。カタツムリの仲間は動きが少ないので、生息ごとに違うものがあります。



ウスカワマイマイ

殻径25ミリくらいで、北海道から九州まで生息しています。カタツムリにしては開けた明るい環境を好む種類です。



コハクオナジマイマイ

殻径15ミリくらいできれいな色をしています。殻頂付近が黄色いのは内蔵の色が透けているのです。西日本に生息していましたが最近植木などについて移動しているようです。



ウスバキトンボ

田んぼの上を浮遊するように飛んでいるに比べトンボです。体の大きさに比べ特に後ろ羽根が大きいトンボです。たたき



ジャノメチョウ

つける雨粒から逃れるように茎に止まっています。
・ジャノメチョウは林の縁の草むらを飛ぶ蝶です。羽の表面には鱗粉があって雨をはじくので影響は受けているのでしょうか飛んでいました。





サツマノミダマシ未成熟

左:オス、右:メス

雑木林に沿って歩いていると目の覚めるような緑色をしたクモが目につきました。



マルバハギ花をつけ始めていました。



ニイニゼミの羽化

ヒノキの幹で、10時49分:ニイニゼミが正に羽化を始めていました。帰りにもう一度様子を見てみると11時34分:殻から全部出て(右)、翅を広げているところでした。雨で周りが暗いので、夕方と勘違いして羽化を始めたものだと思います。(通常は日没後、鳥やスズメバチに狙われにくい時間に羽化を始めます)



マネンタケ

ニスを塗ったような光沢があります。コナラの根方で大きくなっていました。傘がうまく開かなかったようです。霊芝とも言われ漢方薬の材料になります。



ヒヨドリバナ 道端に

増え、健康に育っています。キク科の花です。花が咲けばアサギマダラなどチョウが蜜を吸いに訪れます。



アレチマツヨイグサ

もう種ができています。地を這うように伸びているのはコマツヨイグサ(要注意外来生物)です。共に北アメリカ原産。

植物 アカツメクサ、ハルシャギク、アレチマツヨイグサ、コマツヨイグサ、花壇(ムラサキツユクサ・カワラナデシコ・ホタルブクロ・グラジオラス・ヤブカンゾウ)、ツユクサ、ブタナ、ヘクソカズラ、キバナノマツバニンジン、ヤブジラミ花・実、ヒメジオン、(入り口付近:イスタデ・ノギラン・イガクサ)、ヨウシュヤマゴボウ、ヒヨドリバナ増える(花蕾)、カラスウリ、ナワシロイチゴ実、スマレ葉が大きくなる、ヌマトラノオ、ワルナスビ広がる、タチスズメノヒエ、ガクアジサイ、ハマユウ、カンナ、サルトリイバラ大きな葉、コマツナギ、キンシバイ、ノウゼンカズラ、アオツヅラフジ、ハギ、アカメガシワ、オニグルミ、イソノキ実・花、トウネズミモチ、リョウブ咲き始める、テリハノイバラ、ミヤマガマズミ実、カキ実、オオバヤシャブシ実、ムラサキシキブ実、ニセアカシア実、ヤマハゼ実、シラカシ実、コナラ実、 **昆虫・クモ** ジャノメチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ナミアゲハ、不明ガ1、ウスバキトンボ、ハラビロトンボ、マダラスズ声(ジージー)、シバズ声、バッタ類幼虫(ショウリョウバッタ、ツユムシ、クルマバッタモドキ、ツチイナゴ)、コフキゾウムシ、マメコガネ、キマワリ、ニイニゼミ羽化中、アオバハゴロモ幼虫、オオモンシロナガカメムシ、アミメアリ、オオハリアリ、スズメバチの一種、ホソヒラタアブ、ツマグロキンバエ、オドリバエの一種、(クモ)ジョロウグモ幼体、ヤマシロオニグモ、オニグモ雄、アシナガグモ、チュウガタシロカネグモ、サツマノミダマシ多数、コゲチャオニグモ、シロカネイソウロウグモ、クサグモ、コクサグモ幼体、ジョロウグモ幼体、ナガコガネグモ幼体、 **鳥・その他** ツバメ、スズメ、コゲラ声、ウグイス声、ヒヨドリ声、カワウ、ヒメオカモノアラガイ、イセノナミマイマイ、コハクオナジマイマイ、ウスカワマイマイ、カナヘビ、ミミズの一種、カナヘビ死体、ダンゴムシ雌、(茸)キニガイグチ、ツルタケ、マンネンタケ、白色腐朽菌

次回は8月8日(木)、午前9時30分~12時、水資源機構P前集合、参加費100円